

令和4年度 指定管理者年度総合評価表
(令和4年4月～令和5年3月実施分)

作成日	令和5年5月25日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	水産科学館	
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場 14-33	
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びにその他水産に関する知識の普及及び向上を図る。 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造5階建	
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり
	代表者	代表理事 吉井 仁美
	所在地	八戸市大字是川字二ツ家 6-38
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	・八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。 ・施設の使用許可に関すること。 ・施設整備等の維持管理に関すること。	
市所管課 (問合せ先)	観光文化スポーツ部観光課 施設グループ	
	電話	0178-43-9536 (直通)
	E-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	・多くの皆様から「魅力ある施設」として利用されることを目指し、各階の企画展示を歳時記や旬の話題を意識し、さらにはクリオネやウィーディーシードラゴンといった希少生物の展示に取り組んだ結果、57,672人（前年対比131%）の入館者を確保し、減少を最小限にすることができた。 ・マリエント通信においてホームページにつながるQRコードを掲載するなどのレイアウトの見直しを行ったほか、報道機関へ積極的に企画の周知を行うなど、集客・宣伝に取り組んだ。 ・スタッフの質の向上を目指し、クレーム対応基本研修への参加（1名）及び、普通救命（2名）や甲種防火管理者（1名）の資格取得を進めた。 ・安全安心の施設を目指し、避難訓練の実施・安全訓話・防災学習を定期的に実施するとともに、各階フロアにヘルメットを設置、災害時のエレベーターの点検・復旧方法の確認を繰り返して安全の確保に努めた。さらには、地震によるエレベーター内の閉じ込め対策として、非常用品セットが完備されたエレベーターチェアを設置した。 ・障がい者支援センター、青森県立高等支援学校、各中学・高等・専門学校の職場体験の受け入れなどを積極的に実施し、公共施設としての利用と社会貢献の役割を果たすとともに、幅広い分野との連携を深めながら、企画展示の充実や人材の確保に向け取り組むことができた。 ・電気料高騰への対策として、水槽設備（水銀灯）のLED化を行い、経費削減に取り組んだ。 ・自主事業、売店事業の充実のため、食堂施設の活用について、食堂施設使用業者が決定し、使用を開始するまでの期間、「休憩コーナー」として、休憩所・マリエントイベント会場・自主事業開催会場として移動販売や体験販売・ワークショップの開催等行った。施設を有効活用することにより、来館者のサービス向上へつなげる取組となった。
----	---

今後の目標	・3階の展示について、国・県・市町村、漁業者、漁業協同組合との連携をより一層強化し、展示の充実化を図るとともに、幅広い年齢層が興味・関心を持てる企画に取り組んでいく。また、施設の開館 35 周年を記念した企画を展開し、地域との連携と、入館者増加へとつなげる。 ・多くの入館者の皆様に満足をして頂けるよう、館内外の環境整備、電話の応対・お客様の案内・展示物掲示物への説明などの更なる質の向上を目指す。 ・企画充実と飼育技術の成長を促すために、飼育の知識・技術に関する資格取得を目指し、お客様の満足度を上げ、リピーターにつなげるように努める。 ・設備機器の経年劣化や自然災害による故障に備え、各設備の点検や施設見回りを行い、異変の予兆を見逃さないようにする。 ・休館日は、施設設備と機器維持点検を重点的に実施する。 ・指定管理業務に真摯に取り組むため、スタッフの質の向上を図り、防火管理者や救急法の資格取得へ積極的に取り組む。 ・いつ発生するかわからない災害への対応、お客様安全の確保を確実なものにするため、防火等施設の安全管理に備え、職場内研修や訓練を実施する。 ・県内唯一の水産科学館として、国・県・市の協力のもと、水産業の現状とその改善に取り組む現状を生体展示などを通じて伝えるとともに、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ（ジュニア・シニア・プラチナ）の活動を更に発展させ、水産業への興味関心を広げ水産業関連への従事者増加へとつなげられるように取り組む。 ・原油価格・物価高騰の状況が続いているため、光熱水費や発送経費等の削減に努める。
--------------	--

■市（所管課）の総合評価

評価	・これまでの指定管理業務で培われたノウハウを生かし、各種企画や展示を実施していた。 ・附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動では、コロナ禍で活動内容に制限がある中、感染防止に留意しながら積極的に事業を実施していた。 ・地域と連携したイベント等の開催や開館時間の延長等による来館者数の増加と市民サービス向上に努めていた。 ・臨時休館日には、館内外設備、水槽設備、修繕箇所の点検を実施していた。 ・施設の維持管理では、適切な管理がなされており、経費の削減に努めていた。 ・障がい者支援センターや各学校等の職場体験の受け入れを積極的に実施するとともに、幅広い分野との連携による企画展示の充実を図っていた。 ・年間入館者数は 57,672 人と目標の 55,000 人を達成しており、上記取組の成果であると評価でき、総合的にみて良好な管理運営が行われていたと評価できる。
指摘事項	特になし

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	条例（施行規則）で定められている休館日（月曜日）を開館したほか、開館時間を延長し臨時休館を必要最小限に留めるなど、市民サービスの向上に努めていた。 ・自主事業により季節ごと（年4回）に「夜のマリエント」を実施し、開館時間を通常より2時間延長。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市から要請を受けての時間短縮営業は、令和4年3月22日～4月11日（21日間）、3時間短縮。（10時～15時←9時～17時） ・臨時休館日は、令和4年5月9・10・11日、7月12・13日、9月13・14日、12月31日、令和5年1月16・17・18日、2月13・14・15日。（計14日間）
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	◎	令和2年3月に雇用した障がい者1名を現在も継続雇用している。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	◎	従事者の教育や研修が非常によく行われていた。 ・甲種防火管理講習会 1名受講、甲種防火管理者 1名資格取得。 ・クレーム応対基本研修 1名受講。 ・普通救命講習会 2名受講、普通救命講習修了証 2名取得。 ・従事者対象の防災学習会を実施。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・エレベーターチェアを設置した。 ・避難訓練を実施した。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。

通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。また、管理はそれぞれ別の人物が行っていた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	利用者数は前年度実績及び当初の目標を上回った。 入館者増加に向けて企画展示では旬の話題を取り入れ、広報紙やホームページを利用して積極的な情報発信が行われていた。 - 令和3年度 目標入館者数 50,000 人 実績入館者数 43,926 人（対前年度比 99%、目標達成率 88%） - 令和4年度 目標入館者数 55,000 人 実績入館者数 57,672 人（対前年度比 131%、目標達成率 104%）
自主事業	○	コロナ対策を徹底した上で、入館者増加に向けて、各種自主事業を積極的に企画・実施していた。 ・売店事業 ・自動販売機事業 ・水の生き物 特別体験事業 ・マリエント市 ・企画「夜のマリエント」開催 ・元旦の開館及び来場者へのお振舞い

その他の取組 (運営に関する工夫)	○	附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動により、サービスの向上を図った。 <主な活動内容> ・ JpGU（日本地球惑星科学連合）2022 オンライン大会 ・ 令和4年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会での活動発表 ・ 天然記念物「燕島ウミネコ繁殖地」指定100周年記念シンポジウム参加 ・ 海上自衛隊護衛艦「ひゅうが」艦内特別見学 ・ 八戸イカの日大研究 ・ 三陸ジオパーク大研究 ・ 海上自衛隊の仕事再発見！海上自衛隊八戸航空基地見学 ・ はちのへ「ちきゅう」情報館開館15周年、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ発足15周年記念式典
----------------------	---	--

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																																	
指定管理業務の収支状況	○	利用料金収入は、食堂施設使用料収入の減による影響等で計画を下回り、ちきゅうたんけんクラブの活動の幅が広がったことにより事業費支出が計画を上回ったが、新型コロナウイルス対策支援補助金及び電気・ガス価格高騰対策支援補助金収入により黒字となった。																																																																	
		(単位：円)																																																																	
		<table><tr><td>／</td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="7">収入 ①</td><td>利 用 料 金</td><td>13,413,000</td><td>11,821,413</td><td>9,088,386</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>43,590,000</td><td>43,590,000</td><td>43,590,000</td></tr><tr><td>実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)</td><td>125,000</td><td>106,500</td><td>115,500</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス対策支援補助金</td><td>0</td><td>1,078,000</td><td>864,000</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>979,000</td><td>0</td></tr><tr><td>修 繕 料 繰 越 金</td><td>54,048</td><td>54,048</td><td>8,858</td></tr><tr><td>計</td><td>57,182,048</td><td>57,628,961</td><td>53,666,744</td></tr><tr><td rowspan="5">支出 ②</td><td>人 件 費</td><td>25,805,000</td><td>22,814,804</td><td>21,991,001</td></tr><tr><td>維 持 管 理 経 費</td><td>22,209,048</td><td>23,517,976</td><td>22,038,834</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>5,668,000</td><td>6,291,481</td><td>4,954,474</td></tr><tr><td>租 税</td><td>3,500,000</td><td>2,698,438</td><td>2,568,639</td></tr><tr><td>計</td><td>57,182,048</td><td>55,322,699</td><td>51,552,948</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>1,448</td><td>54,048</td></tr><tr><td colspan="2">収入－支出(①－②－③)</td><td>0</td><td>2,304,814</td><td>2,059,748</td></tr></table>	／	項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	利 用 料 金	13,413,000	11,821,413	9,088,386	指 定 管 理 料	43,590,000	43,590,000	43,590,000	実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)	125,000	106,500	115,500	新型コロナウイルス対策支援補助金	0	1,078,000	864,000	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	979,000	0	修 繕 料 繰 越 金	54,048	54,048	8,858	計	57,182,048	57,628,961	53,666,744	支出 ②	人 件 費	25,805,000	22,814,804	21,991,001	維 持 管 理 経 費	22,209,048	23,517,976	22,038,834	事業費・一般事務費	5,668,000	6,291,481	4,954,474	租 税	3,500,000	2,698,438	2,568,639	計	57,182,048	55,322,699	51,552,948	次年度修繕料繰越金③		0	1,448	54,048	収入－支出(①－②－③)		0	2,304,814	2,059,748
		／	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																													
		収入 ①	利 用 料 金	13,413,000	11,821,413	9,088,386																																																													
			指 定 管 理 料	43,590,000	43,590,000	43,590,000																																																													
			実 費 収 入 (ちきゅうたんけんクラブ等)	125,000	106,500	115,500																																																													
			新型コロナウイルス対策支援補助金	0	1,078,000	864,000																																																													
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	979,000	0																																																													
			修 繕 料 繰 越 金	54,048	54,048	8,858																																																													
			計	57,182,048	57,628,961	53,666,744																																																													
		支出 ②	人 件 費	25,805,000	22,814,804	21,991,001																																																													
			維 持 管 理 経 費	22,209,048	23,517,976	22,038,834																																																													
			事業費・一般事務費	5,668,000	6,291,481	4,954,474																																																													
			租 税	3,500,000	2,698,438	2,568,639																																																													
計	57,182,048		55,322,699	51,552,948																																																															
次年度修繕料繰越金③		0	1,448	54,048																																																															
収入－支出(①－②－③)		0	2,304,814	2,059,748																																																															
自主事業の収支状況	○	収支は黒字となった。																																																																	
		収入：4,949,828円 支出：3,580,765円 収支：1,369,063円																																																																	

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ウェブサイトや広報紙で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 アンケート回収数 259 枚（前年度：148 枚）
苦情・要望等への対応	○	苦情、要望等に対し、適切に対応していた。 令和3年度実績 5 件（苦情 2 件、要望 3 件） 令和4年度実績 25 件（苦情 7 件、要望 18 件） <苦情の内容> ・タッチ水槽でタッチができない。 ・5階トイレが和式のみで子どもには使用しづらい。 ・館内が暑すぎる。 <要望の内容> ・パンフレットがほしい。 ・展示物の説明文の文字を大きくしてほしい。 ・クイズラリーのスタートを分かりやすくしてほしい。
個人情報の保護	○	個人情報等保護の規程が整備され遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、従業員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	説明文の掲示を低い位置にする等の丁寧な工夫がなされていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・利用者からの直接の意見や、館内に設置したアンケート箱による利用者の意見を参考に、業務の改善を随時実施した。 ・有識者や地元漁業者等を訪問し、意見やアドバイスを受け管理や運営に反映した。 ・施設及び設備の定期点検を行い、必要な修繕を随時実施した。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書が遅延なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	28 回	4 月 5・13・21 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		5 月 13・15・30 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		6 月 18・24 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		7 月 19・22・24・27 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		8 月 3 日	GL	施設運営等に関する打合せ
		9 月 8・14・23 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		10 月 4・19 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		11 月 7・27 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		12 月 6・14・26 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		1 月 4・26 日	GL、担当	施設運営等に関する打合せ
		2 月 6 日	担当	施設運営等に関する打合せ
		3 月 15・31 日	担当	施設運営等に関する打合せ
	実施結果			
	施設運営や修繕等に関する打合せを行った。			

※GL：グループリーダー